

《心理科学部 臨床心理学科 第1学年（令和8年度(2026年度)一般入学生に適用）》

【卒業に必要な単位数】

(単位)

(単位) ①+②

領域		配当学年	必修					選択必修①					選択 ②	選択 合計	
			1	2	3	4	計	1	2	3	4	計			
全学 教育 科目	教養教育	導入科目	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	15 単位 以上
		教養科目	-	-	-	-	-	16	4	-	-	-	8		
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4	-	-	-	-	-	-		
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		情報科学科目	4	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-		
	医療基盤教育	医療基盤科目	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-		
必要単位数(計)			10	2	-	-	12	-	-	-	-	8	7		
専門 教育 科目	公認心理師科目	心理学基礎科目	10	2	-	-	12	-	2	-	-	-	-	56 単位 以上	
		心理学発展科目	4	4	4	-	12	-	12	4	-	-	-		
		実践心理学	-	4	4	-	8	-	-	4	-	-	-		
		心理学関連科目	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
		実習演習科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	臨床心理専門科目	研究	-	-	4	4	8	-	-	-	-	-	-		
		専門基盤科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		コミュニケーション科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		心理療法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		進路支援科目	-	4	-	-	4	-	-	-	-	-	-		
		医療系科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		産業心理科目	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-		
		医療DX科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	必要単位数(計)			14	14	12	4	44	-	16	10	-	14		42
卒業に必要な単位数(合計)			24	16	12	4	56	-	-	-	-	22	49	71以上	
											127以上				

【各学年配当の、必修科目数】

(科目)

領域		配当学年	必修				
			1	2	3	4	計
全学 教育 科目	教養教育	導入科目	1	-	-	-	1
		教養科目	-	-	-	-	-
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-
		情報科学科目	3	-	-	-	3
	医療基盤教育	医療基盤科目	1	-	-	-	1
配当科目数(計)			7	2	-	-	9
専門 教育 科目	公認心理師科目	心理学基礎科目	5	1	-	-	6
		心理学発展科目	2	2	2	-	6
		実践心理学	-	2	2	-	4
		心理学関連科目	-	-	-	-	-
		実習演習科目	-	-	-	-	-
	臨床心理専門科目	研究	-	-	2	2	4
		専門基盤科目	-	-	-	-	-
		コミュニケーション科目	-	-	-	-	-
		心理療法	-	-	-	-	-
		進路支援科目	-	2	-	-	2
		医療系科目	-	-	-	-	-
		産業心理科目	-	-	-	-	-
		医療DX科目	-	-	-	-	-
	配当科目数(計)			7	7	6	2
配当科目・題目数(合計)			14	9	6	2	31
仮進級に係る基準科目数(*3)			2	1	1	-	-

《選択科目における修得必須要件について(選択必修)》

(\*1) 【教養教育：教養科目】内の、授業科目「人間と思想」「人間と文化」「人間と社会」「自然と科学」から、それぞれ2単位以上修得し、合計：4授業科目で8単位以上の修得が必須である(選択必修)

(\*2) 【専門教育科目】分野に配当の選択科目において、指定の12科目から14単位以上の修得が必須である。(選択必修)

《専門教育科目：公認心理師科目について》

公認心理師資格取得をめざすためには、「公認心理師科目」36科目(必修32単位、選択44単位、合計76単位)をすべて修得する必要がある。

(\*3) 必修科目に不合格がある場合でも、当該学年に配当されている必修科目数の合計のうち、20%を超えない不合格科目数の場合には、仮進級を認めることがある。

\*仮進級者試験での不合格科目数は、当該年度の不合格科目に加算するため、基準科目数が異なる場合がある。

《心理科学部 臨床心理学科 第1学年（令和7年度(2025年度)一般入学生に適用）》

【卒業に必要な単位数】

(単位)

(単位) ①+②

領域	配当学年	必修					選択必修①					選択	選択	
		1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	②	合計	
全学教育科目	教養教育	導入科目	2	-	-	-	2	-	-	-	-	選択	7	15
		教養科目	-	-	-	-	-	16	4	-	-	必修		
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4	-	-	-	-	選択		
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	必修		
		情報科学科目	4	-	-	-	4	-	-	-	-	必修		
	医療基盤教育	医療基盤科目	2	-	-	-	2	-	-	-	-	必修		
必要単位数(計)		10	2	-	-	12	-	-	-	-	8	7		
専門教育科目	公認心理師科目	心理学基礎科目	10	2	-	-	12	-	2	-	-	14	56	
		心理学発展科目	4	4	4	-	12	-	12	4	-			
		実践心理学	-	4	4	-	8	-	-	4	-			
		心理学関連科目	-	-	-	-	-	-	2	-	-			
		実習演習科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	臨床心理専門科目	研究	-	-	4	4	8	-	-	-	-			
		専門基盤科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		コミュニケーション科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		心理療法	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		進路支援科目	-	4	-	-	4	-	-	-	-			
		医療系科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		産業心理科目	-	-	-	-	-	-	-	2	-			
		医療DX科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	必要単位数(計)		14	14	12	4	44	-	16	10	-	14		42
卒業に必要な単位数(合計)		24	16	12	4	56	-	-	-	-	22	49	71以上	
127以上														

【各学年配当の、必修科目数】

(科目)

領域	配当学年	必修					
		1	2	3	4	計	
全学教育科目	教養教育	導入科目	1	-	-	-	1
		教養科目	-	-	-	-	-
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-
		情報科学科目	3	-	-	-	3
	医療基盤教育	医療基盤科目	1	-	-	-	1
配当科目数(計)		7	2	-	-	9	
専門教育科目	公認心理師科目	心理学基礎科目	5	1	-	-	6
		心理学発展科目	2	2	2	-	6
		実践心理学	-	2	2	-	4
		心理学関連科目	-	-	-	-	-
		実習演習科目	-	-	-	-	-
	臨床心理専門科目	研究	-	-	2	2	4
		専門基盤科目	-	-	-	-	-
		コミュニケーション科目	-	-	-	-	-
		心理療法	-	-	-	-	-
		進路支援科目	-	2	-	-	2
		医療系科目	-	-	-	-	-
		産業心理科目	-	-	-	-	-
		医療DX科目	-	-	-	-	-
	配当科目数(計)		7	7	6	2	22
配当科目・題目数(合計)		14	9	6	2	31	
仮進級に係る基準科目数(*3)		2	1	1	-	-	

《選択科目における修得必須要件について(選択必修)》

(\*1) 【教養教育：教養科目】内の、授業科目「人間と思想」「人間と文化」「人間と社会」「自然と科学」から、それぞれ2単位以上修得し、合計：4授業科目で8単位以上の修得が必須である(選択必修)

(\*2) 【専門教育科目】分野に配当の選択科目において、指定の12科目から14単位以上の修得が必須である。(選択必修)

《専門教育科目：公認心理師科目について》

公認心理師資格取得をめざすためには、「公認心理師科目」36科目(必修32単位、選択44単位、合計76単位)をすべて修得する必要がある。

(\*3) 必修科目に不合格がある場合でも、当該学年に配当されている必修科目数の合計のうち、20%を超えない不合格科目数の場合には、仮進級を認めることがある。

\*仮進級者試験での不合格科目数は、当該年度の不合格科目に加算するため、基準科目数が異なる場合がある。

《心理科学部 臨床心理学科 第1学年（令和6年度(2024年度)一般入学生に適用）》

【卒業に必要な単位数】

(単位)

(単位) ①+②

領域	配当学年	必修					選択必修①					選択	選択	
		1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	②	合計	
全学教育科目	教養教育	導入科目	2	-	-	-	2	-	-	-	-	選択必修(*1)		15 単位以上
		教養科目	-	-	-	-	-	16	4	-	-	8		
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4	-	-	-	-			
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		情報科学科目	4	-	-	-	4	-	-	-	-			
	医療基盤教育	医療基盤科目	2	-	-	-	2	-	-	-	-			
必要単位数(計)		10	2	-	-	12	-	-	-	-	8	7		
専門教育科目	公認心理師科目	心理学基礎科目	10	2	-	-	12	-	2	-	-		56 単位以上	
		心理学発展科目	4	4	4	-	12	-	12	4	-			
		実践心理学	-	4	4	-	8	-	-	4	-			
		心理学関連科目	-	-	-	-	-	-	2	-	-	選択必修(*2)		
		実習演習科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	臨床心理専門科目	研究	-	-	4	4	8	-	-	-	-			
		専門基盤科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14		42
		コミュニケーション科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		心理療法	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		進路支援科目	-	4	-	-	4	-	-	-	-			
		医療系科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		産業心理科目	-	-	-	-	-	-	-	2	-			
		医療DX科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	必要単位数(計)		14	14	12	4	44	-	16	10	-	14		42
卒業に必要な単位数(合計)		24	16	12	4	56	-	-	-	-	22	49	71以上	
							127以上							

【各学年配当の、必修科目数】

(科目)

領域	配当学年	必修					
		1	2	3	4	計	
全学教育科目	教養教育	導入科目	1	-	-	-	1
		教養科目	-	-	-	-	-
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-
		情報科学科目	3	-	-	-	3
	医療基盤教育	医療基盤科目	1	-	-	-	1
配当科目数(計)		7	2	-	-	9	
専門教育科目	公認心理師科目	心理学基礎科目	5	1	-	-	6
		心理学発展科目	2	2	2	-	6
		実践心理学	-	2	2	-	4
		心理学関連科目	-	-	-	-	-
		実習演習科目	-	-	-	-	-
	臨床心理専門科目	研究	-	-	2	2	4
		専門基盤科目	-	-	-	-	-
		コミュニケーション科目	-	-	-	-	-
		心理療法	-	-	-	-	-
		進路支援科目	-	2	-	-	2
		医療系科目	-	-	-	-	-
		産業心理科目	-	-	-	-	-
		医療DX科目	-	-	-	-	-
	配当科目数(計)		7	7	6	2	22
配当科目・題目数(合計)		14	9	6	2	31	
仮進級に係る基準科目数(*3)		2	1	1	-	-	

《選択科目における修得必須要件について(選択必修)》

(\*1) 【教養教育：教養科目】内の、授業科目「人間と思想」「人間と文化」「人間と社会」「自然と科学」から、それぞれ2単位以上修得し、合計：4授業科目で8単位以上の修得が必須である(選択必修)

(\*2) 【専門教育科目】分野に配当の選択科目において、指定の12科目から14単位以上の修得が必須である。(選択必修)

《専門教育科目：公認心理師科目について》

公認心理師資格取得をめざすためには、「公認心理師科目」36科目(必修32単位、選択44単位、合計76単位)をすべて修得する必要がある。

(\*3) 必修科目に不合格がある場合でも、当該学年に配当されている必修科目数の合計のうち、20%を超えない不合格科目数の場合には、仮進級を認めることがある。

\*仮進級者試験での不合格科目数は、当該年度の不合格科目に加算するため、基準科目数が異なる場合がある。

《心理科学部 臨床心理学科 第1学年（令和5年度(2023年度)一般入学生に適用）》

【卒業に必要な単位数】

(単位)

(単位) ①+②

領域	配当学年	必修					選択必修①					選択	選択	
		1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	②	合計	
全学 教育科目	教養教育	導入科目	2	-	-	-	2	-	-	-	-	選択 必修 (*1)	8	15 単位 以上
		教養科目	-	-	-	-	-	16	4	-	-	-	-	
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4	-	-	-	-	-	-	
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		情報科学科目	4	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	
	医療基盤教育	医療基盤科目	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
必要単位数(計)		10	2	-	-	12	-	-	-	-	8	7		
専門 教育科目	公認心理師科目	心理学基礎科目	12	2	-	-	14	-	2	-	-	-	-	54 単位 以上
		心理学発展科目	4	4	4	-	12	-	12	4	-	-	-	
		実践心理学	-	4	4	-	8	-	-	4	-	-	-	
		心理学関連科目	-	-	-	-	-	-	2	-	-	選択 必修 (*2)	-	
		実習演習科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	臨床心理専門科目	研究	-	-	4	4	8	-	-	-	-	-	-	
		専門基盤科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	
		コミュニケーション科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		心理療法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		進路支援科目	-	4	-	-	4	-	-	-	-	-	-	
		医療系科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		産業心理科目	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
		医療DX科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	必要単位数(計)		16	14	12	4	46	-	16	10	-	14	40	
卒業に必要な単位数(合計)		26	16	12	4	58	-	-	-	-	22	47	69以上	
127以上														

【各学年配当の、必修科目数】

(科目)

領域	配当学年	必修					
		1	2	3	4	計	
全学 教育科目	教養教育	導入科目	1	-	-	-	1
		教養科目	-	-	-	-	-
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-
		情報科学科目	3	-	-	-	3
	医療基盤教育	医療基盤科目	1	-	-	-	1
配当科目数(計)		7	2	-	-	9	
専門 教育科目	公認心理師科目	心理学基礎科目	5	1	-	-	6
		心理学発展科目	2	2	2	-	6
		実践心理学	-	2	2	-	4
		心理学関連科目	-	-	-	-	-
		実習演習科目	-	-	-	-	-
	臨床心理専門科目	研究	-	-	2	2	4
		専門基盤科目	-	-	-	-	-
		コミュニケーション科目	-	-	-	-	-
		心理療法	-	-	-	-	-
		進路支援科目	-	2	-	-	2
		医療系科目	-	-	-	-	-
		産業心理科目	-	-	-	-	-
		医療DX科目	-	-	-	-	-
	配当科目数(計)		7	7	6	2	22
配当科目・題目数(合計)		14	9	6	2	31	
仮進級に係る基準科目数(*3)		2	1	1	-	-	

《選択科目における修得必須要件について(選択必修)》

(\*1) 【教養教育：教養科目】内の、授業科目「人間と思想」「人間と文化」「人間と社会」「自然と科学」から、それぞれ2単位以上修得し、合計：4授業科目で8単位以上の修得が必須である(選択必修)

(\*2) 【専門教育科目】分野に配当の選択科目において、指定の12科目から14単位以上の修得が必須である。(選択必修)

《専門教育科目：公認心理師科目について》

公認心理師資格取得をめざすためには、「公認心理師科目」36科目(必修34単位、選択44単位、合計78単位)をすべて修得する必要がある。

(\*3) 必修科目に不合格がある場合でも、当該学年に配当されている必修科目数の合計のうち、20%を超えない不合格科目数の場合には、仮進級を認めることがある。

\*仮進級者試験での不合格科目数は、当該年度の不合格科目に加算するため、基準科目数が異なる場合がある。